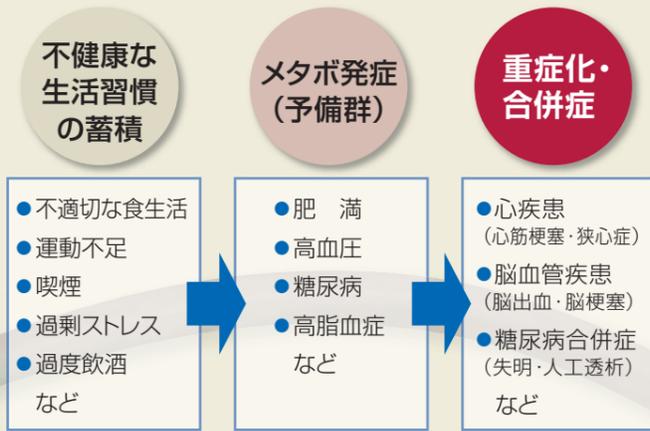


## 静かに忍び寄る メタボリックシンドロームの恐怖



## メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)とは?

内臓脂肪型肥満(内臓のまわりに脂肪のついた状態)に加え、高血圧、高血圧、脂質異常という生活習慣病の危険因子を2つ以上あわせもった状態のことです。日々の不健康な生活習慣の積み重ねで進行し、自覚症状が無いので、放置しておくくと動脈硬化を進行させ、重大な病気になるまで気付きにくいのが特徴です。治療には、内臓脂肪を減らす努力が必要で、健診を受けることが重要になります。

あなたの健康が、  
次の世代に影響します…

# 「特定健診」を 受けよう!

このように、40~50歳代の人  
が生活習慣病になることが多く、  
早い時期から生活習慣の改善、  
予防を行うことが重要になるの  
です。動き盛りのこの年代。仕  
事を頑張るのも家族のためです  
が、健康であり続けることも家  
族のためとは思いませんか?

### 調べて解る 生活習慣病の多さ

国民健康保険の平成18年10月  
診療分を調査したところ、1ヵ  
月間に何らかの病気で医療機関  
を受診した74歳までの被保険者  
は、2,199人で、このうち  
生活習慣病で治療した人は、  
1,948人(88.6%)を  
占めています。この数は、被保  
険者数の26.2%にあたります。

そのうち、40~74歳の生活習  
慣病治療者は、1,893人(男  
性848人、女性1,045人)  
に上っています。実に、97.1%  
の治療者が40~74歳の被保険者  
なのです。

平成20年4月から、これまでの  
基本健診が廃止され、新たに40歳  
から74歳を対象にした「特定健  
診」、「特定保健指導」が始まりま  
した。

この「特定健診」は、脳卒中や心  
筋梗塞などの生活習慣病を予防  
するため、メタボリックシンド  
ロームとその予備群を早期に発  
見することを目的としています。

### ため、健診に行こう!

特定健診を受けましょう  
(健診受診状況から)

町が平成18年度に行った基本  
健診結果から、国保加入者の受  
診状況をみると、40歳から  
74歳の受診率は表のとおり、若  
い年代の受診率が低く、特に40  
歳代で著しく低く、全体の4分  
の1を下回っている状況です。

### 誰だってあなたの健康を願っています

国は、5年後に受診率の目標  
を65%にしています。もし、達  
成できなければ、国民健康保険  
の後期高齢者支援金(各保険者  
が後期高齢者医療制度の財源と  
して支援するお金)が最大で10  
パーセント加算され、その財源  
は国民健康保険税でまかなわな  
ければならなりません。しか  
し、達成するためには、1,000  
人以上の健診を受けていない  
人が、新たに受診しなければな  
りません。これは容易なことでは  
ありません。

健康を受け、健康でいること  
は、次世代に影響することにな  
るのです。しかし、健診を受け  
ないままに健康を願っています。

健康とは、空気のようなもの。  
無くなればその大切さが身に沁  
みます。しかし、無くなってか  
らではもう遅いのです。自分自  
身が健康で明るく過ごすために、  
大切な家族、子どもや孫、仲間  
のために、まずは健診を受診し  
ましょう。

平成18年度  
国保被保険者基本健診受診率

	男性	女性	全体
40歳代	26.5%	22.9%	24.7%
50歳代	34.9%	44.4%	39.7%
60歳代	42.5%	49.2%	46.2%
70~74歳	39.6%	36.2%	37.7%
40~74歳	37.2%	41.3%	39.3%

### あなたの健診は、どこで、どのように受けるか見てみましょう!

